

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	日本文化（茶道Ⅱ）					授業形態	実習		
科目コード	531702	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験担当教員		Active・L	
担当教員名	内村 伸代							ICT活用	
授業概要	日本の伝統文化である茶の湯に身をおいて、心を穏やかにし、そして豊かにし、人格を高める。 授業は実習形式で、繰り返し稽古をする。								
関連する科目	日本文化（茶道Ⅰ）								
授業の方法と進め方									
第1回	お菓子のいただき方、薄茶のいただき方								
第2回	客の作法、席入り、道具の名称、お茶の心得、四規七則、利休百首歌								
第3回	客の作法、席入り、割り稽古、水屋について								
第4回	割り稽古、略点前、客の作法、流派について								
第5回	割り稽古、略点前、客の作法、抹茶について								
第6回	割り稽古、略点前、客の作法、季節をおもう								
第7回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（平安時代）								
第8回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（鎌倉～室町時代）								
第9回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（室町時代）								
第10回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（室町～安土桃山時代）								
第11回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（安土桃山時代、信長）								
第12回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（安土桃山時代、秀吉）								
第13回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（江戸時代前期、三千家成立）								
第14回	風炉の運び点前、客の作法、茶の歴史（江戸時代中期～近代）								
第15回	風炉の運び点前、客の作法、宿題プリント答合わせ								
授業の達成目標	茶道400年の伝統にふれ、美しい人間関係の築きかたを身につける。 和室での所作、抹茶の点て方、抹茶のいただき方の基本を自然に身につけることを目指す。								
学修成果との関連	4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。								
授業時間外学習【予習】	授業の復習をすること。 茶の知識、歴史等の課題有り。(1時間程度)								
授業時間外学【復習】	授業の復習をすること。 茶の知識、歴史等の課題有り。(1時間程度)								
課題に対するフィードバック	授業中に指導を行う。								
評価方法・基準	受講態度50%，実技評価30%，課題提出20%								
テキスト	特になし								

参考書	特になし
備考	履修希望者が多い場合、制限する場合がある。 別途、茶道初歩セットが必要（4,000円：持っている場合は不要）、ふくさは茶室で借りることも可能。 表千家免状取得希望者は、本科目と「日本文化（茶道Ⅰ）」の両方に合格[単位取得]することが必要。